

(様式6-2)

研修派遣 精算書

2026年 3月4日

三田市議会議長 様

本会派(私)は、研修派遣(参加)に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会派名	公明党	代表者	福田 佳則
		議員名	村手 秀樹
参加者氏名	村手 秀樹		
研修先	京都 JA ビル		
講演会等 研修名	数字に強い議員になる予算審査と財政の基本		
研修事項	・財政全体を一枚で掴むための必須資料セットと見方 ・予算審査で必ず押さえない論点と、避けた方が良い聞き方 等		
日時	令和8年2月16日(月曜日)～ 年 月 日(曜日)		
支払金内訳	科目	支出額	摘要
	参加負担金	20,000	受講料
	宿泊料		
	日当		
	鉄道賃 (モルール)	2,920	JR 三田～京都 1,460円×2
	航空賃		
	バス賃		
	船賃		
	タクシー		
	その他		
合計	22,920		
備考			

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

(様式6-3)

研修等 報告書

2026年 3月 4日

三田市議会議長 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	公 明 党	代表者	福田 佳則
		議員名	村手 秀樹
参加者氏名	村手 秀樹		
講演会等研修名	数字に強い議員になる予算審査と財政の基本		
研修事項	・ 財政全体を一枚で掴むための必須資料セットと見方 ・ 予算審査で必ず押さえない論点と、避けた方が良い聞き方等		
日 時	令和8年2月16日(月曜日) ~ 年 月 日 (曜日)		
場 所	京都 JA ビル		
研修の概要 及び所見 (別紙でも可)	1. 予算書のどこから見るのか、読み方の基本 2. 大事な数字を見落とさないための「3つのチェックポイント」 3. 財政全体を一枚で掴むための必須資料セット 4. 事業の目的・効果・KPIを整理するフレームワーク 5. 部局ヒヤリングで聞くこと、委員会質疑で深掘りすること 6. 予算審査で必ず押さえない論点と避けた方が良い聞き方 7. 通る質疑メモの作り方と審査をスムーズに進める整理術 8. 議事録に成果が残るまとめ方、締めくくり方 9. その他		
添付資料	・ 予算審査と財政の基本 (数字に強い議員になる)		

添付書類 (講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

「数字に強い議員になる予算審査と財政の基本」研修 内容・所見

- ・研修日時 令和8年2月16日 10時～16時
- ・会場 京都 JA ビル
- ・研修主催 地方議員研究会
- ・講師 地方議員研究会事務局長 杉本康介

- 議員の仕事とは「住民の福祉の増進」（地方自治法第1条の2）であり、自分自身の議員になった意味を再確認する。
- 予算書だけを見ては本質的なことは書いていない。まずは、地方財政の制度を学び、財政のルールを学び、自身の自治体の財政を学び、その中で各事業の進捗状況や成果を聞きだし、予算に生かしていくことが大事である。
- 所得税・法人税・消費税などの一定割合及び地方法人税は、地方公共団体間の財源の不均衡を調整するため、国が国税として徴収し、基準に従って地方に再分配するのが地方交付税であり、元々地方のお金である。普通交付税と特別交付税がある。
- 自治体財政のルールとしては、まず「赤字にならないこと。自治体のお金は議会が決定することであり、使い方は自由である。住民の福祉増進のために使うお金である。予算を決めた責任は議会であることを自覚すること。
- 一般的に地方財政が分かりにくいのは、予算書・決算書の構成が性質別になっていて、事業ごとになっていない。→三田市では、予算附属書資料で事業別に表記されているので、審査しやすい。
- 各行政は、予算案を議会に提出し議決を経なければ執行することができない「予算事前議決の原則」がある。
- 会計年度独立の原則があり、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わるよう、その年度内の収入をその年度で支出することが原則となっている。議会でチェックの必要。
- 財源には、自由に使える一般財源と用途が特定されている特定財源があり、一般財源を予算編成し支出を決めていく。
- 決算審査意見書は、決算の問題点を効率よく知ることができ、特に監査委員の意見部分は一般質問に活用できるので、よく確認しておく必要がある。
- 毎年10月頃に作成される次年度の「予算編成基本方針」は、市が現在の財政状況をどのように捉えているかが読み取れるので、手に入れてチェックすること。一般質問に活用できる。
- 予算書や決算書の数字だけをチェックするのではなく、事業の成果をきちんと聞き、異議があるようなら予算修正や否決をする。市民から預かった税金の使い方を決めるのは議会である。
- 市の決算カード（決算状況）をしっかりと見てチェックする。市の貯金(基金)の残高、税収と交付税の金額、税金金額や超課課税金額、実質収支・実質単年度収支、徴収率などを確認し、健全な財政運営がされているかチェックできる。
- 実質収支ではなく、実質単年度収支をチェックし財政の実質的な収支をみる。
- 他の自治体の財政状況資料と比較してみて、自身の市がどのような状況か確認してみる。

- 令和7年度「地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業」の紹介。
- 議員は、議会だけでなく議会と議会の間で何をしたかが大事。職員とのコミュニケーションをとること。職員から本音を聞きだしていく。数字などは事前に調べておく。自身が分からない事は、説明を受けたり、個人での勉強会に職員の協力をしてもらう。
- 総務省が出している次年度の地方財政対策の概要を確認、地方財政の見通し・予算編成上の留意事項等について確認しておく。
- 質問を作る時の発想例として、マスコミなどのニュース、他市の先進事例、過去の議事録を深掘り、住民の意見、国の補助事業、市の計画など。
- 日常で質問する内容と議会で質問する内容は違う。議会で分からないことを聞いたり、不正を追及したりするよりも、提案をし行政を動かすための質問をする。

セミナーに参加し、議員としての責任として、行政の予算・決算審査にどう取り組むことがより良いのか知ることができた。市の財政は、予算編成し実行していく行政の責任ではなく、それを審査した議会・議員の責任だと痛感した。

今後の予算審査・決算審査に今回のセミナー内容を参考にして取り組んでいきたい。